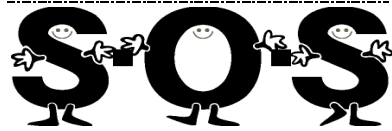


◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



vol. 164通信
H26年4月8日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ http://www.s-o-s.co.jp

利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)

☆ナイス・ケア

☆ナイス・デイ (定員10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
6	7	9	5	5	8	7

☆ナイス・ホーム(登録者17名/定員21名)

★愛宕の家(入居者17名/定員17名)

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ

☆打太鼓・4月生(新メンバー)大募集♪

～上記を参考にご利用下さい～

＜4月予定＞

- 3・4日 さくらの花見
- 10日 外食DAY
- 18日 職員全体会
- 20日 避難訓練(総合)
- 26日 誕生日会

＜不定期行事＞

その日の天気や意欲等で状況判断して、外出先一覧を参考に社会生活参加します

食欲/愛宕の家

一気に春めいてきた今日この頃。ここ最近、愛宕の家では腹ペコの方が急増中。Aさん「ご飯はまだですか～?」、スタッフ『さっき食べたばかりだよお～!』Oさん「何でこんなにお腹がすくんだらう?」スタッフ『生きとる証拠!』Kさん「何にも食べてない。」

スタッフ『その口の周りについてるのは何かな～?』等々他にも言葉には出さないものの、あちこちで私を追いかける腹ペコ視線が・・・(汗)

人間、年齢を重ねるにつれて色々な欲をそぎ落とし、最後に残るのは食欲?生きていく為の本能という事か……。食欲があるのは元氣な証拠という事で、皆さんの食欲に乾杯としよう(K・T)



仲間/ナイス・キッズ

今年の1月に北海道へ引越したキッズが3月21日に帰ってきた。

生まれた直後からSOSで育っていた存在だっただけに、不在の間は淋しさが漂った。

「アイツが引越しちゃっても何も変わらない、平気だよ。」と一番冷静を装っていた子は

“帰ってくる日”が分かった瞬間、ついに口走った。「俺らって空港に迎えに行く?」

皆が揃った春休み。異常な程に賑やかな日々を送っている。いつも居る存在が忽然と

消える時、一人一人の反応は違ったが、やはり、何かしらの感情を抱いたのだから。帰ってきた今、ひとりの存在の大切さにも気付いた瞬間があったと思う。そういう私も、今、『うさ～い!!』と言いながら何故だか

とても笑っている。新しい学年の始まり、キッズの仲間が揃っているのが嬉しい!! (R・W)

「何が利点でどう便利なの?」と問われても、今の自分には上手く説明が出来るか不安だ。しかし、事ある毎に、小規模の意味を噛み締めて、日々の関わりに活かしていきたい。(S・H)

日々の運動の大切さパート2/理学療法士

先月に引き続き、運動についての話です。腰を痛めないためには、①腹筋、背筋を鍛える事。②ハムストリングス(大腿後面の筋肉)のストレッチ。

家でテレビを見ながらでも少しずつ続けることが大切です。そして、一番大切なことは、鍛えた筋肉を、実際に力を入れる時にうまく使うことです。物を持ち上げる時や、ぐっと力を入れる時に、意識して腹筋を緊張させること。腹筋にしっかりと意識が向いていれば、ぎっくり腰も防ぐことができます。そして、日常生活でも、腹筋を意識して生活

できるようになれば、力も入れやすくなり、何より姿勢よく、見た目もきれい! お試してください。(U・I)



ちゃんと意味がある/ナイス・ホーム

小規模多機能型居宅介護と小規模デイサービスを兼務してふと考える。小規模多機能型居宅介護って、単に、デイサービスと訪問介護とショートステイが付随しているだけか? いったいどんな意味があるのだろうか。

最近、事業所が付随していることより、同一スタッフが全てに関わることにより、利用者さんとの関わりがより深くなることは身にしみて分ってきた。自宅の様子、生活状況、性分、癖なんかもデイサービスよりも分かり易い。その事は介護者(私たち)にとって利点。じゃあ、利用者さんにとってはどうか? 『顔なじみで、近くの親戚みたいな存在』と見てもらえれば嬉しい。

しかし、関わる私たちが小規模多機能型居宅介護の意義をしっかりと理解しなければ、元も子もない。

「何が利点でどう便利なの?」と問われても、今の自分には上手く説明が出来るか不安だ。しかし、事ある毎に、小規模の意味を噛み締めて、日々の関わりに活かしていきたい。(S・H)

それぞれのデイサービス/ナイス・デイ

定員10名という小規模デイならではの、それぞれの目的に添った対応を心掛けています。全ての目的に共通して言える事は…、“楽しくなくちゃ意味がない”

なので、一番に「笑顔になれる時は?」と考えます。それぞれの目的を達成した時、楽しい会話、外出で刺激を受けた時、美味しい食事…。いろんな思いが浮かびます。そして、私が笑顔になれる時…。ナイス・デイの利用者さんがほんの一瞬でも心からの笑顔をみせて下さった時です。その笑顔を多くみられるようにする事が私にとってのデイサービスなのだと思います。これから気候も良くなります。季節を感じながら楽しく過ごしましょうね。(E・T)



介護と看護・終末期を迎えたSさんの記録/看護師

足切断後、足を失う事での痛み(幻肢痛=怪我や病気によって四肢を切断した患者の多くが体験する難治性の疼痛。あるはずもない手や足が痛む症状)を訴え、それに対する対応を考えなければならぬと覚悟していた私であったが、Sさんに幻肢痛の訴えはなかった。それほどまでに腫瘍による痛みを耐えていたのだろう。

生活は一変して穏やかなになった。大好きなコーヒーを飲み喫茶店に行き、デイサービスにも出掛けた。しかし、精神的な安定とは反対に病状は進行し、左足の骨転移や胸水が見つかった。

ある日、左太ももの痛みを訴えた。骨折している可能性が高いと判断し主治医へ連絡。通院をするよう指示を受けたが、この激痛を伴う状況での通院は困難と考え、かかりつけ医に往診を依頼し鎮痛剤を使用。ある程度の効果が見られたため翌日通院。左大腿骨骨折(病的骨折)と診断されたが、全身状態から手術は困難とされた。これをきっかけに主治医である医師に、通院による精神的身体的な負担が大きいこと、いつまで積極的治療を続けなければいけないのか言い出せなかった家族の想いをぶつけた。主治医、かかりつけ医、家族と相談をした結果、緩和治療へ切り替えることになった。(M・T)

大切な時間/ナイス・ケア

しばらくぶりに訪問担当したWさん宅。

「依然と変わらないだろうか…」と不安の中、いつものように布団の中のWさんの肩をたたいて来訪を知らせた。ゆっくりとではあるが、自分で起きる。一安心。補聴器の姿がみえず、「会話は大丈夫か?」と不安になるが、意外としっかりと話された。トイレの移動も慎重に動く。

またまた一安心。

訪問前の不安な気持ちは、Wさんの動き一つひとつで消えてゆく。

その反面、自分はWさんにどのように受け取られているのか?と不意に思った。久しぶりの顔で不安を与えてしまわなかったか。形ばかりの対応になってはいなかったか。今度は自分の対応に不安が募ってきた…。

一対一で過ごせる大切な時間。それを、待ち遠しく待っていてもらえるような関わりができるように心掛けたい。(H・A)

編集後記

消費税が8%になりました。これからの生活にどれくらい影響がでてくるのか心配です。消費税増税前、IPS細胞や盲目で失聴の作曲家など、“疑惑”が話題となっていましたね。ニュースを見る度に、一度失った信用は取り戻し難いと感じました。信頼って、得ようと思って得られるものではありませんよね。ドギマギしながら日々を繰り返し、また、失敗しながらも懸命さが通じた時、初めて、少しずつ、お互いの信頼に繋がる。私たち介護職こそ、信頼して頂けてこそ一人前。(Y・O)

小学1~5年生KIDが4コマ漫画を描き、その中で選りすぐりの一枚を大人が選び、掲載します

四月といえば

